



横田小だより

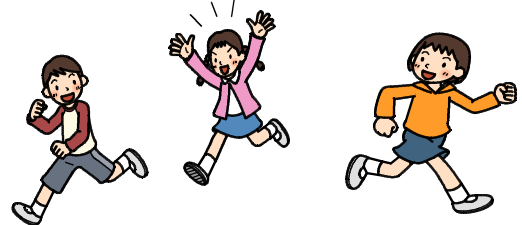


平成29年9月27日発行
高岡市立横田小学校

大人も子供も遊びが大好き！

教頭 池田 壮太郎

鬼ごっこって、なぜあんなにおもしろいのだろう。
スリル満点の駆け引き？ タッチして捕まえたい、
するりと抜けて逃げ切りたい・・・。
とにかく、一度やったらやめられない！
何も道具がいらない、とても安上がりなゲームです。



鉄棒って、どうしてみんなにぶら下がられるのだろう。たった1本の鉄の棒が目の前にあるだけ。ところが、だれかが見付けると、ツバメのようにのっかったり、くるくる回って回って止まらなったり、時にはグライダーになって飛んでみたり・・・。天地が大逆転する世界を楽しんでいるのでしょうか？

石ころがありました。手にとってぽんと投げたら、ケンパに早変わり。いや、陣取り合戦になるかもしれません。などなど、子供たちの周りには、不思議な遊びがたくさんあるようです。

みなさんは、このほかに「だるまさんが転んだ」
「大根さん」「馬乗り」など、昔自分がやった遊びを
いろいろと思い出されたのではありませんか。
今の子供たちは、遊びを知らないとよく言われます。
しかし、私はそう思いません。その時代時代にあった、
遊び方があるからです。
形は違えども、その時代にあった遊びを自分たちで工夫し、心から楽しんでいるはずです。



ただ少し違って、子供たちがはあはあ息をして汗をかいて遊びきること、元気な声が響き渡ること、が断然少なくなっていると思います。

不審者対応で、公園もなかなか遊びづらい。熱中症になるから、外に出ないでクーラーの効いた部屋で過ごす。今年の夏も様々な社会的な要因で、子供たちの遊び方は変化しました。昨今、タブレットや通信ゲーム機などを使った遊びがごく普通になっています。子供たちは、そのゲームの中で精一杯の工夫をして（レベルアップ、次のステージへ）いますが、何か一つ大事な忘れ物をしているような気がしてなりません。

画面を通してプレイする楽しさ以上に、隣にいる友達と外へ出て遊ぶ楽しさを経験してほしいですね。集団遊びの中で、「時にはけんかをしながら仲直りする」「鬼を交代する」「鉄棒の順番を守る」など社会性を学ぶチャンスがあります。「ほんとは、みんなで遊びたいんだ」という子供たちの思いがどんどん重なり、自然と遊びのルールに目が行き、ルール作りの過程できっと子供たちは社会性を身に付けていってくれると思います。

学校でも、以前は普通の遊びの中で学んだような社会的ルールを、クラスで分かりやすく話し合い、明るい教室作りに取り組んでいます。

さて、10月は学習発表会です。ステージ発表もまた児童と教師の手作り作業です。「みんなで作りたいんだ」という思いがどのようにふくらんで花を咲かせるか、どうかみなさん応援よろしくをお願いいたします。

横田のしっす子たちは、今どんなことに取り組んでいるのでしょうか。学校のホームページでは、その取組を紹介しています。アドレスは、下記のとおりです。どうぞ、アクセスしてご覧ください。
<http://yokota-e.el.tym.ed.jp/>